

令和8年度 学校「学ぶ力」育成プログラム
自ら課題を見付け、自ら学び、自ら問題を解決する資質・能力

学校番号：33061

市立札幌開成中等教育学校

「学ぶ力」	
成果	課題
<p>◇全国学力学習状況調査の質問調査結果から、「学級の生徒の間で話し合う活動で自分の考えを深めたり、新たな考え方に気付いたりすることができている」と感じている生徒は約93%、「授業で学んだことを、次の学習や実生活に結びつけて考えたり、生かしたりすることができる」と思っている生徒が約80%である等、高い値を示している。</p> <p>◇また「自分と違う意見について考えるのは楽しいと思うか」の質問項目に対しては約93%の生徒が肯定的に回答するなど、活発な意見交換へとつながる下地作りができている。</p>	<p>◇生徒の教科学力以外の能力や行動特性、傾向などを社会で求められる「汎用的な能力（ジェネリックスキル）」を測定する「学びみらい PASS」の調査結果において、「コンピテンシー」の総合値は全国平均より高い値を示しているが、「対人基礎力」において、自分の意見を言わなくなったり相手に譲ることが増え、自分の意見を伝えきれないと感じている生徒が増加傾向にある。</p> <p>◇また「対課題基礎力」においては「実践力」が下がっており、やるべきことがあってもなかなか自ら行動を起こせない、状況変化に対応できないという生徒も増加傾向にある。</p>
「学ぶ力」の基盤〈協働を通して磨く 相互承認の感度〉の現状と課題	
<p>◇「授業や学校生活では、友達や周りの人の考えを大切に、お互いに協力しながら課題の解決に取り組んでいるか」の項目では約96%の生徒が肯定的な回答を示しており、自己を肯定し多様な価値観を認め合う心の余裕の土壌ができている。</p> <p>◇中等教育学校における6年間を通した学びの連続性を生かし、学習活動や特別活動における幅広い異年齢集団による学び合いや交流・協働する環境を整え、多様な価値観を認め合う機会をさらに充実させていくことが重要である。</p>	

「学ぶ力」の育成のために着目する資質・能力

自ら課題を発見し、生涯にわたって学び続ける力

自己を肯定し、多様な価値観を認め合う心

取組	課題探究的な学習の推進 に向けて	自治的な活動の充実 に向けて
	<p>(ア) 全教職員が単元計画「Unit Planner」の見直しと改善に取り組み、探究を通じた協働学習における「指導のアプローチ」(ATT)を意識した授業改善と、学習において重視する「学習のアプローチ」(ATL)の学習スキルを言語化し、生徒自身が課題探究的な学習を実践できるよう支援する。</p> <p>(イ) 学際的学習「IDU」の理念に基づいた他教科との連携と授業実践を推進する。</p> <p>(ウ) 本校独自の教育理念「SELF」に基づき、様々な課題を「自分ごと化」する経験から子どもたちの主体性を育むことを目指す。</p>	<p>① MYPプログラムにおける「奉仕と行動 SA(service as action)」を通じて、校内や地域における課題を発見し、その解決と改善に向けて生徒が自ら企画運営する奉仕活動によって、自らの責任感や社会貢献の意識を高める。</p> <p>② 総合的な学習の時間「コズモプロジェクト」において、地域や社会とのつながりを考える「ほんもの」を体験することにより、そこから発見した課題に対する自分たちの提案を地域に発信する力を育成する。</p>
「学ぶ力」の育成の一層の充実を図る ICTの活用について		
<p>◇主に(ア)や②において、chromebook を活用し、レポートやプレゼンテーション作成に役立てるとともに、写真機能やインターネット検索などを活用し、課題研究的な学習を深化させる。</p> <p>◇主に(ウ)や①において、「生成 AI」の利活用や情報資料の留意点について、『論文・レポート作成ガイド』や剽窃探知ツール「Turnitin」を活用し、情報モラルを育成し、学問的誠実性の遵守や、責任ある自身の行動を促す。</p>		

<本プログラムの実行に向けて>

